



図書館だより



2021年11月号 NO. 384
北茨城市立図書館
茨城県北茨城市磯原町本町 2-5-16
TEL 0293-42-1451

11月です。あけましておめでとうから10ヶ月が経過しカレンダーも残り2枚を残すばかりです。11月には文化の日、勤労感謝の日、2回の祝日がありますので両祝日のいわれなどを調べてみました。

3日の文化の日ですが、国民の祝日に関する法律によると「自由と平和を愛し、文化を進める」ことを趣旨とした国民の祝日とあり、1946年11月3日に日本国憲法が公布され、憲法が平和と文化を重視しているということから「文化の日」に定められました。

3日には文化勲章の授与式が皇居で行われ、国立博物館や国立自然公園などは入園料の免除等があります。また文化の日になる前は、明治天皇の誕生日として祝日となっていました。

23日の勤労感謝の日は、今年最後の祝日となります。「勤労をたつとび、生産を祝い、国民互いに感謝する日」とされています。もともとは新嘗祭（にいなめさい）という祭日でした。

今回、調べてみて文化の日が憲法記念日と結びついていたことが初めてわかり、とても驚いています。

最後になりますがカレンダーには、新暦、旧暦、六曜、二十四節季、行事、〇〇の日などが記載されていますので、皆さんもそれぞれのいわれなど調べてみてはいかがでしょうか。

by 風 大左衛門



《 図書館カレンダー 》 は、休館日です。

★ 開館時間 : 午前9時30分～午後6時 ★

★ 2021年11月 ★

★ 12月 ★



日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

★ YABOOKご紹介 ★

『アルジャーノンに花束を』

一般書 933キイ ダニエル・キイス / 著 小尾 芙佐 / 訳

皆さんは「アルジャーノンに花束を」という作品をご存じですか？

とても有名な作品ですし、日本でもこの本を原作にして何度かドラマが放映されているので、タイトルだけは知っているという方も多いのではないのでしょうか。

この本は、知能に障がいを持つ青年が手術により一転して高い知能を手に入れたことで、自分が知っていた世界が変わってしまうというSF小説です。

主人公はパン屋で働く温厚な青年チャーリー。彼はいつも頭が良くなりたいと願っていました。そんな彼は、ある手術を受けたことであつという間に天才になってしまいます。難しい問題を解き、知識を手に入れることができるようになり、チャーリーは喜びます。

しかし成長した知能は、今まで彼が見ていた、感じていた世界を全く違うものにしてしまい、知りたくもないことまで知ってしまいます。

物語は全てチャーリーの目線から語られます。障がいを持つ人としての目線から、天才的な頭脳を手に入れた人としての目線まで、変化するチャーリーの心と今まで持つことのなかった苦悩、その先の結末まで、非常に繊細に描かれた物語です。

by きなこもち

★ 図書館員のひと一言 ★ ～秋に手に取ってもらいたい絵本～

『かえでの葉っぱ』 Eデ D・ムラースコヴァー / 文 出久根 育 / 絵 理論社

おおきながけに かえでの木が一本。この木のでっぺんに一枚のおおきな葉っぱがついています。秋になり、葉っぱは、木から飛び立つのを楽しみに待っています。

「ぼくが落ちるときは うんと遠くまで行くんだ！」

そして、ある日の午後、葉っぱは ふわりと飛び立ちました。旅の途中、いろんな世界を見ました。

やがて、きれいな金色とピンクだった体は、茶色くなり、雪の中で眠っているうちに、気が付くと葉脈だけになってしまった自分を「へんなすがた」と思います。「でも、これもわるくない」 なぜなら、からだが軽くなり もうどこへでも行けるのです。

枯れ葉や枯れ枝を見ると「これが枯れ葉？ついこの間まできれいな緑色だったのに！ぼくもおなじだからわかるんだ。これは枯れ木じゃない。この木に花が咲いていたし、これはきれいなつぼみだったよ」

思えば いろんなものを見た

思えば いろんなことを聞いた

思えば 長生きしたものだ

かえでの葉っぱにとって一生は一年。木から離れるとき、元気いっぱいだった葉っぱは、旅を続けるうちに姿を変えますが、心は変わらないのです。そして、旅をしながら、つぶやく言葉がしみじみと読む人の心にしみみます。🌸 物語の作者は、プラハ生まれのムラースコヴァーさん。同じくプラハ在住の出久根育さんが美しい絵を描いています。子どもから大人まで、読んでもらいたい絵本です。🌸

by ビクトリア

◇ ぎんいろのねこ ◇

児童書Eギン あまんきみこ / 作 えがしらみちこ / 絵 金の星社

のらねこのどぶしろに、いつも食べ物を取られてしまい怒っているわたしのママ。どぶしろは、白猫だが薄汚れているので、どぶしろと呼んでいる。どぶしろは、頭がよく素早い。

夜になって、あたしは友達に返してもらった絵本「ももたろう」を公園のベンチに忘れてきたことを思い出した。ママと一緒に公園に行くと、女の人の声で「ももたろう」を読んでいるのが聞こえてきた。いったい誰が読んでいるのか・・・。

※ちょっと、お話しその後を想像したくなる物語でした。あなたならどんな想像をしますか？
by チッピー

◇ バーナバスのだいだっそう ◇

児童書Eバナ ファン・フラザース / 作 原田 勝 / 訳 学研プラス

バーナバスはペットショップの地下深く、秘密の研究所で暮らしています。

そこでは完璧な人口ペットが作られていました。でもバーナバスは<失敗作>の並ぶ小さなガラス瓶の中、外の世界を見たいと思うこともありました。

ある日、<失敗作>はみんな作り直されることになってしまいます。バーナバスは<失敗作>の仲間たちと脱走しようと決めますが、みんなと力を合わせ、広い世界に出ることはできるでしょうか？

ちなみに、バーナバスは半分ネズミで半分ゾウの<失敗作>ですが、とってもかわいいんですよ。
by ワタタリカ

◇ おさるのゆめ ◇

児童書913IC いとう ひろし / 作・絵 講談社

ぼくは おさるです。

みなみの しまに すんでいます。

ぼくは このしまで みんなと なかよく くらしています。

おさるは、ゆめをみるのかな？ みるとしたら、どんな ゆめをみるのかな？ ゆめのなかで、なにをしているのかな？ 「おさるの本」の最新刊です。
by みーやん



◇ それでもがんばる！どんまいなちっちゃいきもの図鑑 ◇

一般書480ノ 今泉 忠明 / 監修 宝島社

「ウォンバットは、食べたご飯を消化するのに2週間かかる」「シマエナガは、ちっちゃすぎて、たまにカマキリに負ける」「アヒルは、ウインクしないと怖くて眠れない」「1年のうち11ヵ月間も寝ているヤマネがいる」「ママハチドリは、ちっちゃすぎて毎晩冬眠している」

・・・などなど、“ちっちゃくてかわいい♡”のに、ちょっと“どんまい”な、生き物の秘密を、たくさん集めた本です。お子さんにもおススメです。
by みーやん

『おはなし会』のお知らせ

★ 図書館おはなし会 ★

11月3日（水）、10日（水）、17日（水）
午前10時～10時30分

★ エプロンひろ子さんのエプロンシアター ★

11月13日（土） 午前10時～10時30分

★ ぼっぼのおはなし会 ★

11月24日（水） 午前10時～11時

★ メリアンさんの英語のおはなし会 ★

11月27日（土） 午前10時～10時30分

— すべて参加自由・無料です。

場所は、1階絵本コーナーです。 —



『読書感想画』展示しています！

- ◆ 市内小学校のみなさんの読書感想画を展示しています。
- ◆ 場所：図書館2階 展示期間：11月28日（日）まで

第16回『図書館バードウォッチングの会』

- ◆ 11月7日（日） ◆ 午前10時～11時30分（雨天時は中止です。）
- 図書館前、ウォーキングロードで行います。お申込みは不要です。
当日、図書館までお越しください。時間内、途中参加OKです。

図書館美術講座『竹久夢二の師友録』

- ◆ 11月10日（水） ◆ 午前10時～正午
- ◆ 会場：図書館2階会議室
- ◆ 講師：森 誠造 氏（日立市在住 茨城文芸協会会員・竹久夢二学会員）
- ◆ 定員：16名（先着順）
- ◆ 参加費：無料

